

競技用モーターボートの環境対策

【提案先】国土交通省

1. 提案項目

(1) 競技用モーターボートエンジンの4サイクル化、さらには電動化に向けた強力な指導

- 全国のボートレース場に、一般財団法人日本モーターボート競走会が開発したボートレース用の4サイクルエンジン、さらには電動モーターの導入に向けた普及指導
- 全国のボートレース場の理解と協力の下、同型エンジン、さらには電動モーターを一斉導入

(2) 競技用モーターボートエンジンの4サイクル化、さらには電動化に向けた環境整備に対する支援

- モーターボート競走関係団体が4サイクルエンジン、さらには電動モーター搭載艇の導入を円滑に進められるような環境整備に対する支援
- モーターボート競走関係団体が行う、選手に対する4サイクルエンジン、さらには電動モーターの構造や整備に関する教育指導に対する支援

2. 提案の理由

- 国や県において、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすべく取組を進めている。
- 琵琶湖におけるレジャーボート（小型船舶）の利用について、「琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」に基づき、従来型2サイクルエンジンの使用を禁止している。
- 競技用モーターボートは、条例による規制の対象外だが、県営のびわこボートレース場において、従来型2サイクルエンジンを使用していることに対して厳しい意見もある。
- 同様に規制の対象外である漁船については、水産庁の助成金を活用して4サイクルエンジンへの換装に取り組まれている。
- 国および一般財団法人日本モーターボート競走会においては、競技用4サイクルエンジンの開発が進められてきたところであり、その導入は技術的には可能である。また、電動モーターについても現在開発中であると伺っている。

(本県の取組状況と課題)

琵琶湖のレジャー活動に伴う環境への負荷の低減

取組状況

- 「琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」の制定(H14)
 - ・航行規制水域の指定 → 生活環境、自然環境の保全
 - ・従来型2サイクルエンジンの使用禁止
→ 排出ガスによる水質への負荷の低減
- 競技用4サイクルエンジンの実用化研究の要望(H15)
 - ・競技適合性を有した環境配慮型競技用エンジンの開発完了(H19)
- 「琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」の一部改正(H23.3)
 - ・従来型2サイクルエンジンの使用完全禁止(特例措置終了)、罰則化
- 適合証の表示義務化(H24.10)
 - ・県が交付する、適合原動機搭載艇であることを示す適合証を貼付しないプレジャーボートの使用禁止
- 「”しがCO2 ネットゼロ”ムーブメント」キックオフ宣言(R2.1.6)
 - ・2050年にCO2排出量を実質ゼロにすることを目指し、取組開始

課題

漁船や競技用ボートが2サイクルエンジン規制の対象外であることへの批判

漁船への対応

国の制度を活用した4サイクルエンジンへの換装を県漁連に働きかけ

競技用ボートへの対応

びわこボートレース場における4サイクルエンジン、さらには電動モーターの導入協議

びわこボートレース場単独導入の課題

- ・エンジンの構造や整備について、選手に対する教育が必要となる。
- ・4サイクルエンジン、さらには電動モーターでの出場拒否が想定される。
- ・単独で他場と異なるエンジン等を導入すると、コストがかかる。

提案

◆ 競技用モーターボートエンジンの4サイクル化
さらには電動化に向けた強力な指導と支援

担当：琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課琵琶湖レジャー対策係
TEL 077-528-3485